

平成30年度に使用する教科用図書の採択について(報告)

広島大学附属福山高等学校

平成30年度に使用する教科用図書の採択結果とその理由について、ご報告いたします。

採択教科書		選定理由 (内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等)
教科名	国語総合	現代を代表する評論家の評論文と、広く読まれている文学作品を、教材として多く載せており、多くの文章を読ませる授業が展開できる。また、評論文のテーマは偏りなく、幅広いものとなっており、人間、社会、自然の各領域について考えを広げることができる。さらに、「羅針盤」では、評論文の読み方やテーマごとの解説をしており、生徒の評論文を読む力を育成することができる。
発行者の略称	筑摩	
教科書名	精選国語総合 現代文編 改訂版	
教科名	国語総合	基本的な教材文を、各時代を代表する作品から選んで載せているので、高校古典の導入期にいる高校1年生に適切な教科書である。また、教材文の表記を工夫しており、読みやすいものとなっている。 文法や漢文のきまりについては、「古典文法の窓」や「送り仮名のきまり」などで詳しく扱っており、理解を深めることができる。
発行者の略称	筑摩	
教科書名	精選国語総合 古典編 改訂版	
教科名	現代文B	第一部と第二部に分かれており、現代文Bを二年間で履修する場合に扱いやすい。 教材文は評論文を多く載せており、人間、社会、自然について考えを広げるのに適切である。また、評論文教材は、キーワードをとりあげて意味を説明しており、現代社会を論じるために必要な語彙を豊かにすることができる。
発行者の略称	筑摩	
教科書名	精選現代文B 改訂版	
教科名	古典A	教材文がジャンル別に載せられており、扱いたいジャンルに沿って授業を行うことができる。また、分量的、内容的にまとまりをもって教材が載せられているので、作品を読み深め、書き手や登場人物の感情や思想について考えさせる授業を展開するのに適切である。 コラムは古典世界や古典作品に関心を持たせ、理解を深めさせる内容となっており、生徒に読ませたい内容となっている。
発行者の略称	東書	
教科書名	古典A	
教科名	古典B	第一部と第二部に分かれており、古典Bを二年間で履修する場合に、扱いやすい。 教材文は各時代、各ジャンルの代表的な作品から選ばれており、様々な時代の書き手や登場人物の思想や感情について考えさせることができる。教材文の脚注欄には多くの注釈が記されており、生徒の理解を助けるよう工夫されている。付録では古語、特に心情語について丁寧に説明をしており、生徒が登場人物の心情をより深く理解し、考えを深めることができる。
発行者の略称	筑摩	
教科書名	古典B 古文編 改訂版	
教科名	古典B	第一部と第二部に分かれており、古典Bを二年間で履修する場合に、扱いやすい。 教材文は各ジャンルから代表的なものが選ばれており、様々な時代の書き手や登場人物の思想や感情について考えさせることができる。教材文の配列は短く読みやすいものから順に載せられており、漢文を読む力を段階的に高めていくのに適切である。また、教材文の脚注欄には多くの注釈が記されており、生徒の理解を助けるよう工夫されている。
発行者の略称	筑摩	
教科書名	古典B 漢文編 改訂版	
教科名	世界史A	グローバルな視点から世界全体のつながりをとらえており、世界全体の動きが把握しやすい。地図が多く使用されており、地域的・空間的な関係が分かりやすい。世界史の中に日本史を位置付ける視点が明確で、生徒にとっても理解しやすい構成になっている。
発行者の略称	帝国	
教科書名	明解 世界史A	
教科名	世界史B	多角的な視点から歴史が構成されており、タテの流れを4つにまとめつつヨコのつながりにも留意した構成になっている。各ページで地図・図版・資料を取り入れ、注も一層充実させている。海域世界や中央ユーラシアからの視点を積極的に取り入れ日本とのつながりも重視している。
発行者の略称	東書	
教科書名	世界史B	

採択教科書		選定理由（内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等）
教科名	日本史A	本文の内容・記述に近現代史をさまざまな視点から深く学ぶことができる工夫がなされている。章立てや単元構成もわかりやすく、学習の整理がしやすい。詳しい本文と興味深い資料の的確な配置により生徒の学習意欲を喚起する構成となっている。
発行者の略称	山川	
教科書名	日本史A 改訂版	
教科名	日本史B	学習上必要な内容を十分網羅し、歴史的事象を詳細かつ明確な表現で述べている。章立てや単元構成も的確で新しい研究成果も多く盛り込んでいる。色使いも穏やかで本文と注・資料のバランスもよく、生徒の学習の深化を高める構成となっている。
発行者の略称	山川	
教科書名	詳説日本史 改訂版	
教科名	地理A	既存の系統地理や地誌の内容もカバーしながら、地域の新しい動きや防災などの新しい視点も十分記載している。また、内容理解を促すための図表・写真資料と、その解説が充実している。さらに、学習する地域と日本との関わりや、日本と比較したときの違いなど、比較・分析を進めていくうえで必要な視点や情報を多く取り入れ、より現代社会の地理的認識の力を高めるための工夫がなされている。
発行者の略称	帝国	
教科書名	高等学校 新地理A	
教科名	地理B	系統地理分野においては、事象の記述にとどまらず、因果関係にも踏み込んでおり、より深い地理的見方・考え方の育成をはかることができる。地誌分野においては、自然環境や産業だけでなく、歴史的背景についても記述があり、より多面的な分析を可能としている。また、両分野とも、理解の一助となる図表や写真が効果的に配置されており、生徒が効果的に理解できるよう工夫されている。
発行者の略称	帝国	
教科書名	新詳地理B	
教科名	地図	前年度より横幅が広がったことで、広い範囲が同一ページに収まり、より地域の理解が容易になった。一般図では、地形の段彩が明確で、地形の特徴を捉えやすく、また、歴史事項も記載されているため歴史的背景を考える材料ともなる。主題図では、自然・産業・生活文化など、幅広いテーマの主題図が掲載され、多面的な地域理解に役立つ。また、主題図に「考察」コーナーが設けられており、地図をもとにした地理的見方・考え方の育成をはかるよう工夫されている。
発行者の略称	帝国	
教科書名	新詳高等地図	
教科名	現代社会	記述内容が詳細かつ具体的で凡例も多く掲載され、2年次にわたって学習する本校生徒が自学用としても活用しやすいものであるといえる。各章の冒頭にはイントロダクションが設けられており、これから学習する内容の具体的な事例が紹介されていることも生徒の関心を高めるために有効であると考えられる。
発行者の略称	実教	
教科書名	高校現代社会 新訂版	
教科名	倫理	全体を通して、先哲の思想と現代とのつながりを強く意識した構成になっている。これは、現代の様々な倫理課題を自分自身の問題として考えることにつながり、倫理を学ぶ最も重要な目的の一つを果たすことになる。また、各章のはじめに全体を貫く問いがあり、それを考えるために必要な要素、すなわち内容解説と原典資料が過不足無く記載されている。
発行者の略称	第一	
教科書名	高等学校 改訂版 倫理	
教科名	政治・経済	各単元はテーマごとに体系的に整理されており、記述内容・記述量ともに、政治・経済に対して関心の高い本校の生徒に適していると考えられる。また「現代社会の諸問題」に関する単元においては、論争となる問題を対立する二つの視点から考えさせるという構成をとっており、さらに「研究課題例」を設けるなど、課題を追究する学習のための工夫が見られる。
発行者の略称	第一	
教科書名	高等学校 改訂版 政治・経済	
教科名	数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学Ⅲ・数学A・ 数学B	必要な内容を精選し、数学の見方や考え方などが身につくように工夫されている。発展的な内容についても別途取り上げるなどして効果的に学習ができるように、また生徒が進んで数学を学ぶ楽しさを味わうことができるように考えられている。理解を助けるために多くの例が取り上げられており、知識の定着と応用力をつけるための例題も積極的に取り上げられている。例題によっては解の指針や考え方がわかるような工夫もなされている。基本的な内容の理解と定着をはかり総合的な応用力を養えるように問題の配列も工夫してある。既習事項との関連性もわかりやすく表現されている。図解や側注・効率的な色使いによって見た目もわかりやすくなっている。以上の事柄から、総合的に活用しやすく、本校生徒及び授業の実態に即した教材であると考えられる。
発行者の略称	啓林館	
教科書名	詳説数学Ⅰ改訂版・ 数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 詳説数学A改訂版・ 数学B	

採択教科書		選定理由（内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等）
教科名	物理基礎	本書は、データやグラフなどが多く盛り込まれ、また図やモデルなどによる考察過程での補助的資料も多く、実験を中心にして、生徒の体験を重視した展開を図っている。その実験も、当校の実験の器具で無理なく実施可能な内容となっている。また、本書に掲載されている発展の内容も、基礎の内容を補完する内容となっており、当校の教育課程に照らし合わせて合致したものになっている。
発行者の略称	啓林館	
教科書名	物理基礎 改訂版	
教科名	物理	本書は、扱っている物理現象を図や写真など視覚的に想起させ、1つ1つの現象の説明が丁寧で、且つ、分かりやすい。特に、法則の成り立ちや物理的考え方を、生徒自身が自学するのに適切な題材を選定し、読みながら分かる展開となっている。挿し込みなどに書かれている実験も含めて、非常に身近で、容易に試せるものも豊富であり、当校の実験の器具で無理なく実施可能な内容となっていることから、本書が当校の教育課程に照らし合わせて合致したものになっている。
発行者の略称	啓林館	
教科書名	物理	
教科名	化学基礎	本書は内容が図や写真、グラフや表などを用いて、わかりやすく、且つ視覚的に確認しやすいように掲載されている。また、要所に「参考」「発展」などの項目が設けられ、授業やその補足として使うだけでなく、生徒の自学自習を促すような構成になっており、学習すべき内容の系統性や発展性に配慮が行き届いた構成となっている。また、本書の冒頭部には「実験の基本操作」について、写真で詳しく解説しているページがあり、これは実験を多く取り入れた当校の化学教育の内容・展開と合致したものになっている。
発行者の略称	第一	
教科書名	高等学校 改訂 化学基礎	
教科名	化学	本書は諸現象や物質について図や写真などを用いて、わかりやすく解説する構成となっている。また、内容と関連して、近年話題となっている化学的な事象・技術や、物質・反応についての予備知識が「トピック」「参考」などのかたちで取り入れられており、生徒個々の興味・関心や理解度に応じた授業展開が可能となっている。また、観察・実験についても、各章ごとに探究活動が設けられているほか、代表的な実験は本文中で紹介されているなど、実験を主体とした当校の授業展開・学習指導に適した内容の配置となっている。
発行者の略称	第一	
教科書名	高等学校 改訂 化学	
教科名	生物基礎	本書の観察・実験、探究活動を通じて問題解決に向かう構成は、当校の授業において活用しやすいものであり、その手順と配置も適当である。また、学習内容に準ずる話題や発展的内容が適切に配置され、その内容と頻度が基礎的学習にふさわしい。科学的な知識に関しても、多様な事物・現象が扱われており、用語やモデルの系統的な配列など、生徒の実情に合わせた当校の学習指導の方針に適したものとなっている。
発行者の略称	実教	
教科書名	生物基礎 新訂版	
教科名	生物	本書は、生命現象と生物の存在様式を詳細に扱い、その内容を適切に整理して容易に理解できるよう配慮されている。発展的内容の配置頻度が適当であり、その適時性もある。観察・実験、探究活動を通じて問題解決に向かう構成は、当校の授業において活用しやすいものであり、その手順と配置も適当である。以上の特性は生徒の実情に合わせた当校の学習指導の方針に合致したものである。
発行者の略称	第一	
教科書名	高等学校 生物	
教科名	地学基礎	本書は、地球から宇宙へとスケールが大きくなっていく構成、換言すれば身近な視点から全体的・俯瞰的な視点へと移り変わっていく構成となっており、生徒がよりイメージしやすくなるよう工夫されている。内容・構成も系統的に配列されているため、学習指導計画を考える際、生徒の実態に応じた柔軟なプランニングが可能である。また、当出版社は、基礎を付していない「地学」教科書を発行している数少ない会社の一つであり、基礎を付していない「地学」教科書への使用を見越して、内容的にも充実した、発展的な事物・現象を取り扱ったものとなっている。これらの特性は、当校の教育課程や学習指導に照らし合わせて適したものとなっている。
発行者の略称	啓林館	
教科書名	地学基礎 改訂版	
教科名	保健体育	内容の構成・配列が適切で理解しやすい。資料が豊富で扱いやすい。「もっと広げる深める」やコラムが用意されており、生徒の興味・関心を高めることができる。章のまとめは自発的学習を促すものとして役に立つ。など生徒の学びを最優先して採択した。
発行者の略称	大修館	
教科書名	現代高等保健体育 改訂版	小中学校での共通教材が「心の歌」として取り上げられており、日本で昔から歌い継がれている曲を再評価できるようになっている。オペラやミュージカルだけでなく、わが国の伝統音楽の舞台芸術についても比較しながら理解できるよう、工夫がなされている。また、鑑賞と表現との一体化が図られており、使いやすい教科書となっている。
教科名	音楽 I	
発行者の略称	教芸	
教科書名	MOUSA1	

採択教科書		選定理由（内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等）
教科名	音楽Ⅱ	音楽Ⅰとの継続性が図られており、特に器楽では音楽Ⅰで培ったギターの基礎的な奏法の上に立って、ギター弾き語りなどの発展的な内容ができるようになっている。歌唱では合唱やボイスアンサンブルなどが取り入れられ、生徒が自分たちで考えながら曲作りをして行けるような構成となっている。
発行者の略称	教芸	
教科書名	MOUSA2	
教科名	美術Ⅰ	生徒の主体的な学びに問いかけるような工夫により、アクティブラーニングに対応させている。また、情報量が多く、技法の資料集や美術史が充実しているため、副読本などの資料の代わりになる。鑑賞中心のカリキュラムにとって、美術史の内容が24ページと充実しており、しかも、作品が題材のページとリンクしているため、一つの作品により深く迫っていくことが可能になっている。このようなことから、生徒の美術への興味関心を持たせることができる教科書であると考えられる。
発行者の略称	日文	
教科書名	高校生の美術1	
教科名	美術Ⅱ	応用的な授業をおこなう上では、想像力を広げる作品が必要となり、表紙の作品や「絵に隠された謎」、「問題を解決するデザインを発想しよう」、質問形式のところなどのように、生徒に考えさせる内容が充実している。鑑賞分野では芸術家について学習していくため、作家の生涯や作家インタビューを活用し、授業展開に役立てることができる。
発行者の略称	光村	
教科書名	美術2	
教科名	書道Ⅰ	世界の文字文化の中での書の位置づけや日常生活の中での書の扱われ方などを意識して編集してある。また、昨年よりはやや簡潔になったが、楷書・行書・仮名で先ず歴史を俯瞰しておいてそれぞれの古典・古筆を解説していくという体裁をとっている。拓本の採り方を具体的に載せたり、「蘭亭序」ことに王羲之に関する詳しい説明がなされたところも特筆すべき点であろう。漢字仮名交じりの書を平安時代から始めたり、名作をはさんだりと生徒を引き込む工夫が随所にある。
発行者の略称	教図	
教科書名	書Ⅰ	
教科名	書道Ⅱ	Ⅰと同じく、篆書・隸書・草書で、時代の流れや変遷が俯瞰的にわかるような並べ方を、それぞれの最初に持ってくるという編集が施されている。そのあとに代表的な古典が書き方も含めてわかりやすく載せられている。行書・楷書では、いわゆる発展的な作品が数多く取り上げられており、いろいろな書体に関して生徒にイメージを膨らませる授業展開が可能となるつくりになっている。古典・古筆にもとづいた漢字仮名交じりの書への展開もよく工夫されている点である。
発行者の略称	教図	
教科書名	書Ⅱ	
教科名	書道Ⅲ	更に発展的な古典・古筆が適切に載せられているのと、そこから発想したと思われる現代の作品を並べる工夫がなされている。それによってその古典・古筆がどう扱われてきたのかということと、そこからどのように作品に展開されているかがわかる。また、元明清や江戸時代の作品などもとりあげられているので、様々な書風の理解と同時に、創作への手がかりにもなる内容となっている。
発行者の略称	教図	
教科書名	書Ⅲ	
教科名	コミュニケーション 英語	取り上げられているトピックに変更はあるものの、構成は前版から大きな変更はなく、読む・聞く・話す・書くの4技能の活動がバランスよく構成されている。レッスンのトピックは変更されているものもあるが、多岐にわたっており、生徒が考えて意見を交換したり、考えを書いたりまとめたりするのに活用できる。さらに補足教材が豊富で授業の様々な活動に利用できる。
発行者の略称	啓林	
教科書名	Revised ELEMENT English Communication I II, Element English Communication III	
教科名	英語表現	文法事項について、表現活動に活用できるような例文を用いて学習できる工夫がある。また、練習問題も単なる英作文ではなく、SpeakingやWritingに活用できる内容となっている。各レッスンにはListeningやReadingも組み込まれ、内容理解から話す、書くへと学習を連続させることが可能となっている。
発行者の略称	第一	
教科書名	Perspicitive English Espression New Edition I, II	
教科名	家庭基礎	生徒の興味関心を惹く内容のコラムが多く記載されていて、主体的に考えさせる教材になる。実物の写真などが豊富に載せてあり、生活経験の少ない生徒のイメージをわかせるやすい。統計資料が多く記載されているので、それを使って生徒に社会の現状について考えさせることができる。今までプリントして配布していた保育に関する資料が記載してあるので便利。各テーマ毎に持続可能な社会に向けて考えさせる内容が設けてあり生徒は課題を持ちやすい。大きく自立した社会を目指してテーマの中に衣食住生活、経済生活が組み込まれていて、自立を目指して学習する教科だということを生徒に意識させやすい。
発行者の略称	第一	
教科書名	高等学校新版 家庭基礎 ともに生きる・持続可能な未来をつくる	

採択教科書		選定理由（内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等）
教科名	情報の科学	<p>当校はスーパーグローバルハイスクールの指定を受け、教科「情報」の2単位分を新教科「課題研究への誘い」の「数理情報科学分野」として実施している。この数理情報科学分野の情報編として教科「情報」の「情報の科学」の内容の一部を新教科の目標にかなう範囲で履修している。各出版社の教科書を比較検討し、当校の「数理情報科学分野」を学習するにあたって使用しやすい教科書という観点で検討した。「情報とコンピュータ」、「問題解決」、「情報技術と社会」の単元で当校の新教科「課題研究への誘い」を進めるにあたって使用しやすい教科書であると判断し、実教出版の「最新情報の科学新訂版」を選択した。</p>
発行者の略称	実教	
教科書名	最新 情報の科学 新訂版	
教科名	工業	<p>学習内容が的確に捉えてあり、生徒に理解しやすいものとなっている。プログラム演習や各種実験が学習を進める中で適切な時期に配置されている。図や表、写真がわかりやすく配置されており、学習を補助する資料としても活用できる。また、学習内容に関連した参考資料や発展的な内容も掲載されており、生徒が学習内容を深めることができる構成になっている。</p>
発行者の略称	実教	
教科書名	情報技術基礎	